

卒業論文

卒業論文タイトル（日本語）

山中 春樹

指導教員：○○ 教授

○○大学 ○○学部 ○○学科  
2025 年 2 月

# 要旨

本研究では～～～（200～400字程度）。研究目的、手法、結果、結論を簡潔にまとめる。

# **Abstract**

This thesis investigates ... (about 150–250 words). 変えてみたぜ。

# 目次

第1章	序論	4
1.1	背景	4
1.2	目的	4
1.3	本論文の構成	4
第2章	関連研究	5
2.1	骨格認識	5
第3章	提案手法	6
第4章	実験	7
4.1	設定	7
4.2	結果	7
第5章	考察	8
第6章	結論	9

## 図目次

4.1	サンプル図（差し替えてください）	7
-----	------------------	---

## 表目次

# **第1章 序論**

本章では研究の背景・目的・貢献・論文構成について述べる。

## **1.1 背景**

……本文……

## **1.2 目的**

……本文……

## **1.3 本論文の構成**

本論文の構成は以下の通りである。第2章で関連研究、第3章で提案手法、第4章で実験、第5章で考察、第6章で結論を述べる。

# **第 2 章 関連研究**

関連研究を体系的に整理・比較する。

## **2.1 骨格認識**

この研究は [1] と [2] に基づいて行われる。

# **第3章 提案手法**

手法の概観、詳細、アルゴリズム、計算量、実装条件など。

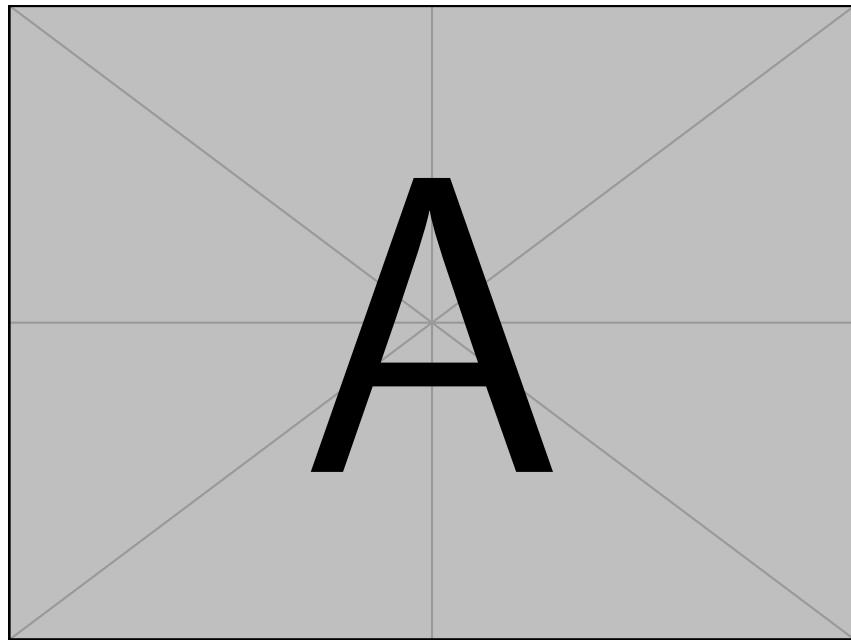


図 4.1 サンプル図（差し替えてください）

## 第 4 章 実験

### 4.1 設定

データセット、評価指標、ハイパーパラメータ等。

### 4.2 結果

図表を交えて結果を報告する（例：図 4.1）。

# **第 5 章 考察**

結果の解釈、限界、失敗事例、将来課題など。

# **第 6 章 結論**

本研究のまとめと今後の展望。

# **謝辞**

本研究の遂行にあたり、ご指導いただいた～～～教授に深く感謝いたします。研究室の皆様、家族にも感謝します。

# Bibliography

- [1]John Doe and Aiko Tanaka. An awesome method for something. *Journal of Interesting Results*, 12(3):123–145, 2023.
- [2]Leslie Lamport. *LaTeX: A Document Preparation System*. Addison-Wesley, 1994.